

## 杉並三田会 3 年生

吉 崎 達 二

杉並三田会も、この 3 月で 3 年目になりました。晴れて杉並三田会 3 年生となった訳であります。入会のきっかけは 2017 年 3 月に遡ります。そもそも、杉並三田会の存在は、入会以前において、工学部同期の集まりの際に桑島文彦君から



ら聞いていましたが、港区に在住の私には縁のない組織であるという認識でありました。その後、杉並区に在住の中村民平君及び松本鉄男君も杉並三田会の会員であることを知りました。素晴らしい活動をしており、楽しい会であることも判りました。そのよ

うな会であるならばと興味を持ち、2017 年 3 月に、民平君と鉄ちゃんと飲んだ時に、「港区在住だけでも入会できるだろうか」と話したところ、「入会できる。自分たちが紹介者になってあげる」ということで、当時の入会の窓口であつた大森久枝さんに Mail を発信し、入会となった次第であります。ご存知のとおり、杉並三田会は入会

しただけでは意味がなく、分科会活動に参加して初めて、その目的とするものに触れることができます。私の場合、入会と同時に、民平君からハイキング散策の会への入会のお誘いがあり、2017 年 4 月に開催された武蔵五日市の滝山城址の散策に参加したのが、最初の分科会活動でありました。この時に、渡邊美穂子さんとお会いし、飲み会で田熊利彰さんらを知ることになりました。そのときの出会いから



お付き合いが始まったのであります。その後、獅子の会、会食を楽しむ会、映画を楽しむ会、花と緑の会に入会し、現在では 7 つの分科会に入会しております。私は、性格的に、何事も、目的をもって継続的に、且つ、楽しく活動することを心掛けておりますので、分科会開催のイベントには、極力、参加することを心掛けております。

杉並三田会は、年齢差も、地位も、しがらみもない面々が、同じ共有価値観のもと、塾員であるということで集い、楽しいひとときを過ごすことに意義を求め組織であると考えております。杉並三田会には、定年も留年もありません。健康であれば、分科会活動に参加できます。努力は必要なのでしょうか？職位や学位といった地位はある程度の努力がなければ得られませんが、年齢は努力をしなくても毎年一つずつ齢を重ねることができると巷間では言われております。

しかし、私も含めて後期高齢者の域に入りますと、杉並三田会における分科会活動をするためには、健康を維持するための努力が必要です。また、ご家族の方の健康が良好であり、円満であるということも要件でありましょう。自分だけが楽しければよいということは許されず、ここには家族に対する気配りという努力並びに家族の理解が必要なのかも知れません。



杉並三田会にとって飲み会はつきものであります。飲み会があるので、杉並三田会の活動に参加するという人もたくさんおられると思います。人と知り合いになる、人柄を知る、情報を得るという観点から、飲み会は意味があると言えます。杉並三田会は、長い人生経験を積まれた方々の集う大人の付き合いの場であります。私自

身、極力、飲み会に参加するように自分なりに努力しているつもりですが、おしゃべりをするのが得意でないので、相当の聲を聞いています、Low Profileに徹しております。

私は、運営委員の重責を仰せつかっていることもあり、運営委員会並びに世話人会に参加させて戴いております。また、複数の運営チームの一員となって会議に出席させて戴いております。このようなことから、組織の在り方など問題点が、若干、見えるようになったと思います。残り1年余りの運営委員の任期中に、これらの問題点に対する何らかの提言ができればと思っている次第です。このような私ですが、私の存在が杉並三田会にとってPositiveな影響を与えているのであれば、この上ない幸いであります。